大分市立碩田学園
学校だより　碩愛　No.4
題字・文責：佐藤（校長）
H31.4.18 発行

学級編制について

大分県が定める学級編制の基準により、１・２年と７年が３０名、その他の学年は４０名、特別支援学級は８名が上限なっています。

特別支援学級に在籍している児童生徒が交流学級で学習するときは、４０名以上の授業となる場合があります。ご理解をお願いします。

ニーハオ、武漢（ウーハン）^^♪

熱烈 歓迎！ １７日（水）に、本校５年生と武漢市の小学生２５名が、ゲームやランチルームでの給食を通じた国際交流の時間を過ごしました。

武漢市は、中華人民共和国中部の湖北省東部に位置する総人口約１千万の大都市です。大分市と武漢市は友好都市となって、今年で４０周年を迎えました。これを記念して、瑞景小学校の合唱団に所属する３～５年生が本校を訪れることになったのです。給食の前に、５年生と８年生が校歌を披露すると、お返しにと武漢の子どもたちがCan You Hear Me?や武漢の歌など３曲を歌ってくれました。とてもレベルが高く、みんな感動した様子で澄み切った美しい歌声に聞き入り、魅了されていました。

５年生の各クラスに瑞景小の児童８～９人ずつ加わって、手をつないで大きな輪を作り、一本のフラフープを順にくぐり抜けるゲームをしました。各チームとも、１回目より２回目の方が７～２０秒早くできました。

瑞景小学校の子どもたちは帰る時間になっても「まだ帰りたくない」「もっと一緒に遊びたい」「また来たい」などと言っていました。

【５年生の感想】

◆合唱では、言葉の意味は分からなかったけど、美しい響きだなあと思いました。

◆給食が終わって、帰るときにはハグもした。また来てほしい。

◆中国の文化に触れることができて、とっても楽しかったです。合唱の歌声も美しくて、同じ５年生とは思えないほど上手でした。

お花ボランティア

春休み中の３月２７日（水）に、児童１２名と保護者２名によるお花ボランティア活動を行い、ラベンダーやブルーデージーなどの花苗３０株ほどを植えました。

参加した児童は、浅井みなみさん、浅井寿慈くん、染矢紗羅さん、湯浅桃空さん、今西あいりさん、倉園珠央さん、井田惟子さん、井尾結珠さん、白下征宗くん、甲斐恭祐くん、甲斐徹平くん、釘岡莉子さんです。保護者の浅井さん、染矢さん、ありがとうございました。

ボランティアさんの中には、昼休みに進んで水やりをしている人がいます。６年生の当番さんも水やりをしています。ありがとう。

次の活動について

明日お迎え遠足が終了したあと、１時間程度の予定でひまわりのタネを植える活動をします。

１５時（午後３時）に校舎棟南側の大階段前（ラベンダー園）に集まってください。

明日１９日は遠足です。食物アレルギーによる事故防止のため、おやつやお弁当のおかずなどの交換は絶対にしないでね。

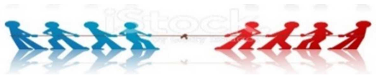
大分市立碩田学園
学校だより
碩愛
No.8
題字・文責：佐藤（校長）
R元.5.13発行

全力と団結～切り替えを素早く～

１０日（金）に体育大会結団式を行いました。冒頭に、児童生徒会長の田中章惺くんが「全力と団結で記憶に残る最高の体育大会に」と呼びかけました。

そのあと、実行委員会から「嵐をおこせ～令和最初の輝跡～」のテーマが示され、委員長の松井涼馬くんと足立佳穂さんから、テーマの説明に加え「移動は無言で素早く、話を聞くときは集中して、声を出すときは全力でというように切り替えて行動してください」との話がありました。残念ながら、５限の全校ダンスの時間はまだまだうまくできていなかったようです。

全力・集中 ➡ 成長



応援団長は、白軍が納戸吉輝くんと齊藤美咲さん、紅軍が冨田健心くんと黒田珠樺さんです。実行委員会や応援団はもちろんのこと、児童生徒一人一人が自分の競技は当たり前として、係の仕事や応援など、一瞬一瞬に全力集中して取り組み、体育大会を通じ個も集団も大きく成長してもらいたいです。

宮崎で震度５弱

１０日（金）の午前８時４８分ごろに地震があり、本校でもゆっくりとした横揺れが２０秒ほど続きました。、全校放送で「直ちに身の安全を守る行動を取るように」と指示をしました。児童生徒は落ち着いて行動でき、混乱や被害はありませんでした。

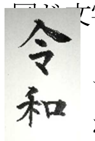
今回の地震が南海トラフ巨大地震想定震源域で発生したとのことですので、今後も引き続き警戒してまいります。

令和の「令」について

今年４月１日に新しい年号が発表されました。

「令和」の文字は、活字（明朝体）で手書きしてありましたね。その後、ネット上などで「令が正しくて令は間違い」などの記述があることに、私は違和感を覚えました。社会に出ると、手書きより明朝体やゴシック体などの活字を目にすることが多くなることに加え、新年号の発表という大きなインパクトが与えた影響もあってこのようなもっともらしい意見が出るでしょうか？

「令」は明朝体で書かれた「令」の字です。学校では「令」で教えます。誰もが「令」で覚えます。国の文化審議会の資料には、<u>手書きの楷書によく見られる「令」と明朝体の「令」との間には字形の差があるものの同じ字体</u>とあります。つまり、どちらも同じ文字として認識されるべきものということです。書き直しを求めるとか、まして間違いとの指摘を受けるようなものではないのですよね。正しい



大分市立碩田学園
学校だより
碩愛
No. 1
題字・文責：佐藤（校長）
R元.5.21 発行

確かな手ごたえあり！

２１日（火）に体育大会の総合練習を実施しました。ずっと雨模様でしたが、おひさまが碩田学園の児童生徒の頑張る姿を見たかったのでしょう、青空がさっと広がりました。２５日（土）も晴れますように…。

入学して間もない１年生ですが、２年生と一緒にかっこいいダンスを披露しました。練習の成果が表れています。応援合戦は、今日のところは、紅軍の方が応援団の出来栄えだけでなく応援席との一体的なまとまりが評価されました。学級対抗リレーや団体競技も楽しそうでしたし、係の仕事も張り切って取り組んでいました。

あとは、もう少しキビキビとした動きができると、素晴らしい体育大会になるでしょう。60 歳の素敵な誕生日プレゼントでした。

今年も接戦の予感

くやしいけれど…

８年実行委員の上杉美咲さんは 20 日夕方、足首のじん帯を痛める大けがをしてしまいました。

涙を浮かべながらも「楽しみにしていた。出られなくて悔しい。だけど、声は出せるので、力いっぱいみんなを応援します。」と前を向いていました。

その駐車　あなたは良くても　みんなに迷惑

昨年の体育大会当日、コンビニエンスストアや銀行で、長時間の無断駐車が多く見られ、商売にならない状況だったそうです。大変申し訳なく思います。

「自分くらいは」「何か買えば文句ないだろ」「ちょっとだけだから」「仕方ないでしょ」などと、身勝手にお考えになるごく一部の方がこのようなことをなさるのでしょうが、児童生徒が頑張っているのに、その一方でこのような指摘や苦情をいただくことは、残念でなりません。

良識ある方が大半ですので、誠にもって恐縮ではありますが、迷惑駐車は絶対にしないようお願いします。体育大会当日に、迷惑駐車や違法駐車が発生すると、その対応のためその都度、競技を中断しなければならなくなります。子どもたちの頑張りに水を差してしまいます。

なお、車いすご利用の方など、どうしても近隣に駐車場が必要な方は、前日 24 日（木）の 13 時から 18 時までの間に、林副校長あてお電話（534-6359）にてご相談願います。

迷惑駐車の根絶のため、ご理解とご協力をお願いします。

大分市立碩田学園
学校だより
碩愛 No.14
題字・文責：佐藤（校長）
R元.5.24 発行

2019 年度体育大会テーマ
嵐をおこせ
～令和最初の輝跡～

気迫満点！

２１日（火）の総合練習に続き、２２日（水）は紅白対抗リレーなどの種目練習を全校で行いました。

１年生から９年生まで選手がバトンをつなぎ、勝利を目指して全力で駆け抜ける姿はとてもかっこいいです。どの選手も素晴らしい走りを見せました。

バトンパスの際に接触して転倒した選手もいました。でも、ひるまずすぐに立ち上がり、猛スピードで先行く選手を気迫あふれる力強い走りで必死に追いかける姿には心を打たれました。また、児童生徒席から声をからして応援する様子も同様に素晴らしいと思います。

確かに、勝負ですので、勝敗はつきますが、少し差が開いても、最後まで緩めることなく、あきらめる様子のかけらもみせず全力・集中する姿が素晴らしいです。これぞ碩田学園です。いよいよ、「輝きの足跡」を残す準備が一つずつ着実にできてきました。本番が楽しみで

まとまり

３，４時間目の練習を終えて、大グラウンドから校舎に戻ってきた８年の佐藤美希さんに聞きました。

Q：学年団体種目の調子はどうですか？
A：競技の最後に全員で長縄を８回跳ばなければならないのだけど、私たちのクラスは、こまで８回跳べたことはありませんでした。だけど、今日、初めてみんなで跳べたんです。
Q：それはよかったね。初めてできて、どんな気持ちがしましたか。
A：とてもうれしかったです。
Q：それはどうしてですか。
A：クラスのまとまりができてきたと感じたからです。

そうです。みんなで力を合わせて、できなかったことができるようになる。うれしいしですよね。その喜びや感動をクラスのみんなで素直に共有することで、まとまりが生まれてきます。青春って、いいよね。

作戦会議

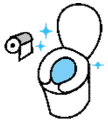
学年種目は学級対抗で行われます。８年生のあるクラスでは、教室のカーテンを閉めて、ビデオに撮影した練習の様子を見ながら、どこが課題で、どのようにすれば改善するか、みんなで意見を出し合う「秘密の作戦会議」を開いていました。

別のクラスでは、自分が目標にしていること、頑張りたいこと、みんなへのメッセージを発表し、テーマを書いた模造紙に一人ずつ貼っていました。（写真上）

どのクラスも、笑顔や笑いがあふれ、とても和やかないい雰囲気でした。

おかげで私も笑顔になりました。NICE！ありがとう。

保護者のご協力に感謝！



PTA会長さまから会員の皆さまに文書が配布されました。教育センターのトイレ清掃やテントの片づけ・収納への協力を呼びかける内容です。

昨年も、体育大会の運営をPTAとして側面的に支援しようと、こうした活動を呼びかけてくださり、会員・非会員の別なく、たくさんの方々のご協力をいただきました。

子は親の姿をみて育つわけですから、保護者の方々が、このように学校の運営にご協力いただいている姿を児童生徒が目にすることにより、教育的にも大きな効果があると思います。

学校としても、PTAの役員さんたちが音頭をとり、主体的にこのように声をかけていただけることをとてもありがたく思います。深く感謝申し上げます。

大分市立碩田学園
学校だより
碩愛
No.21
題字・文責：佐藤（校長）
R 元.7.2 発行

まもめーる

最近、大分市内でも私たちを不安にさせるできごとが起きています。

はじめての方はこちら
新規登録
携帯からの登録はこちら

大分県警が発信している生活安全情報「まもめーる」をご存知ですか？振り込め詐欺や不審な声掛け、行方不明などの事案が発生すると、その情報が登録している人に、いち早くメールで届けられます。

昨日の午後 1 時 40 分ごろ田尻西 10 番付近の歩道上を下校していた女子児童が 40 歳くらいの不審な男から「何歳くらい？」と声をかけられた事案の発生を知らせるメールが届いていました。

本校の校区内でも、女子児童が若草公園付近で声を掛けられる事案が先週の土曜日に発生しています。

警察署の方によると、怖くて身動きできず立ちすくんでしまうことが一番危険なのだそうです。何か怪しい雰囲気を感じるとか、なんとなく危ないと感じるときには、自分の身の安全を守るため「いかのおすし」を思い出して行動しましょう。

いかのおすし

いか：知らない人についていかない
の　：知らない人の車にのらない
お　：おおきな声をだす
す　：すぐににげる
し　：誰かにしらせる

不審者対応訓練

２５日（火）に防犯訓練を実施しました。

大分中央署の署員の方のご協力をいただき、西昇降口から刃物を持った不審者が侵入したとの想定で行いました。訓練の状況は、校内放送を利用して、不審者発見から避難開始の指示発令まで、リアルタイムの実況中継を行いながら実施しました。

- ◆ １年部の鶴田先生と太田先生が異変を察知しました。
- ◆ 不審者が校舎２階の西昇降口から侵入し、あたりの様子をうかがっています。不審者は右手に刃物のような物を持っているようです。
- ◆ 太田先生が大きな声で「０番」と発しています。「０番」これは、不審者侵入の緊急事態が発生したことを知らせる暗号です。武内先生が非常ボタンを押して職員室に通報しました。
- ◆ １年部の先生は各教室の扉を閉めてカギをかけました。
- ◆ 通報を受けた職員室では、状況を確認するため和田教頭先生と廣田先生が１年生教室前に飛んで行き、不審者を確認しました。同時に、鶴田先生が職員室に内線電話で状況を伝えてきました。
- ◆ 校長先生が三宮先生に緊急放送するよう指示しました。
- ◆ 林副校長先生は 110 番通報をしています。
- ◆ 三宮先生が緊急放送を入れます。「訓練、訓練。『ゼロ番』の緊急放送。対象は１名、現場は校舎２階西側のくつばこ付近。児童生徒は全員教室で待機。次の放送を待ちなさい。以上。」
- ◆ 昇降口付近から、１年生の教室前に侵入しようとする不審者に対し、和田教頭先生と廣田先生がさすまたで応戦しています。田島教頭先生も加わりました。１年生教室前の防火シャッターを下ろして侵入を防ごうとしています。（後略）

各教室では実況放送を聞きながら緊迫した空気につつまれていたようです。校舎外に逃走した不審者が上層階の窓から再度侵入する可能性もあることから、すべての出入り口を閉鎖し、より安全が確保できるアリーナへと避難指示をしました。全校児童生徒が各教室から移動し、点呼の完了までにかかった時間は 5 分 19 秒でした。

署員の方は「すばやく整然と避難できていてすばらしい」と評価してくださいました。日ごろから、無言移動・無言整列を心がけている成果がこうした訓練の場に表れました。

そのあと、イザという時に備えて、本校職員 7 名が警察署員（左の写真中央の方）から「さすまた」を使った不審者の撃退法の講習を受けました。使わずに済むのが一番！

県体出場選手（つづき）

バドミントン部（女子）
敷島・高崎ペア

大分市立碩田学園

学校だより

碩愛 No.22

題字・文責：佐藤（校長）

R元.7.1 発行

7月（文月）

お花ボランティア活動

今週はずっと雨の予報ですが、昼休みの時間帯に雨が上がっているようだったら、マリーゴールドなどの花の苗を植えましょう。

できそうな日は、給食時の放送で案内します。

児童生徒会役員選挙候補者一覧

会長　松井涼馬(9-1)、足立佳穂(9-2)

9年副会長男子　日野泰志、橘髙亮
女子　久保美月
8年副会長男子　姫野滉大、岩崎優智
目野貴大
女子　志賀優弥花、佐藤美希
渡邉舞
7年副会長男子　東源斗、穐山瑛太
女子　後藤晶帆、後藤美嬉
首藤百結
6年副会長男子　山﨑力仁、松下登晃
佐藤碧
女子　姫野真未、安形夢叶
飯田千夏

ヒーロー戦隊

碩田学園には赤、青、黄のマスクをしたヒーロー戦隊がときどき現れます。この日はワンストップあいさつを広める目的で全校朝会の場に登場しました。

このヒーロー戦隊は、児童生徒会の執行部の皆さんが、その月の生活目標の浸透を図るため、劇を通して分かりやすく説明するためにやってきます。

ただ単に「目標を守ってください」というような「上から目線」での呼びかけではなく、リーダーたちが全校児童生徒とともに、よりよい学校を創り上げていこうと、さまざまな工夫をしながら、自治的・自律的に、しかも自ら生き生きと活動しているところが、碩田学園児童生徒会の素晴らしいところです。ある意味、運動部や部活動に並ぶ第3の部活動のようなものですね。このような空気が広がり、6月の「3万人あいさつ運動」は目標の2倍以上となる7万人を超える実績を残しました。

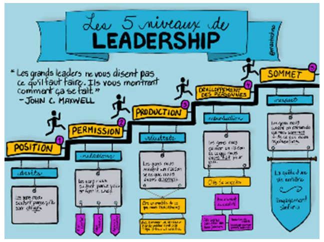
自治的・自律的

開校3年目後半の児童生徒会役員選挙が始まり、全校及び6～9年のリーダー候補が告示されました。

一人一人の「自立」を促す観点から、碩田学園児童生徒会は「自分たちで決めたことは、自分たちで守る」ことを常に重視して活動に取り組んでいます。その中で、日々の委員会活動はもとより、体育大会などの大きな行事にも児童生徒が主体的に活動することで大きな成功につながっていると感じています。

これからの世の中は、人々が多様性を認め合い、対話のよる合意形成を図りながら納得解を導き出すことが重視されることでしょう。リーダーといえば、とかく先頭に立って集団をぐいぐいと引っ張るというイメージが強いのですが、これまでも社会の変化に応じて、管理型➡カリスマ型➡支援型➡ビジョン型などのように、リーダー像も進化しています。

いつの時代も、他のメンバーから「あこがれの的」となるような生き方を示し、気持ちよくフォローできる空気を醸し出せることが、リーダーの重要な役目ですね。



迷惑なだけでなく危険な路駐

梅雨空が続き、児童生徒のみなさんは、登下校時に傘をさすことが増えます。傘でふざけていると、他の人にケガをさせてしまったり、見通しが悪くなり事故に遭ったりする危険性が高くなります。でも、注意力が十分にあれば防げます。気をつけましょう。

なお、児童の送迎をされる一部の保護者の車が学校付近の路上に駐車していることに対し「交通の妨げ」「危険」など、激しい口調での苦情が寄せられています。迷惑駐車とならないようご協力をお願いします。

大分市立碩田学園
学校だより 碩愛 No.27
題字・文責：佐藤（校長）
R元.8.26 発行

道がみえるか？

今日の始業式、入場態度や話を聞く態度がとてもすばらしかったです。夏休み中に事件や事故の連絡もなく、元気な皆さんの姿に出会えたことをとてもうれしく思います。これはひとえにご家庭でのご指導の賜物です。感謝申し上げます。

始業式で、3年首藤ゆりあさん、6年佐藤碧くん、9年松井涼馬くんの3人が「ワンストップあいさつ」「みんなの声をきくリーダー」「先を見通す」といった目標をそれぞれ発表しました。3人とも立派な態度で発表できていました。

式辞の概要は以下の通りです。

全力・集中。何事も、これが成功へのカギです。そして愛する碩田学園の児童生徒の皆さんの素晴らしいところは、知恵と力と心を一つにして、全力・集中して取り組めることです。困難や苦しさを乗り越えて、成長の喜びを分かち合えるところがとても素晴らしいです。

♪　ほおら　足元を見てごらん　これがあなたの歩む道
♪　ほおら　前を見てごらん　これがあなたの未来

皆さんは足元、目の前に、自分の進むべき道が見えていますか。さあ、二学期も、みんなが幸せを感じられるよう、知恵と力と心をひとつに合わせ、全力・集中して、碩田学園の歴史と文化を築く道をともに歩んでいきましょう。

通学路一部見直しの準備

安全第一かつ利便性も考慮し、通学路の見直しを進める中、曳舟橋から住吉川右岸遊歩道先に横断歩道を新設、北門にはミラーとセンサーライトを設置するなどの対策を講じました。

この2か所を通ることを希望する児童生徒の数を把握し、その後、通学路として新たに指定したいと考えています。該当する地域在住の児童生徒に調査用紙を持たせますので、回答を今週末までにご提出願います。

ご参加ありがとうございました

夏休み最終日となる25日（日）に親子清掃を実施しました。初めて一人一役の形で行いました。指定された方以外にも数十名の方々が自発的に参加してくださいました。計400名を超える保護者がアトリウムやローカの床磨き、プールやトイレの清掃、花壇の手入れなどの作業を熱心に行ってくださいました。

普段の清掃時間だけでは、手が届きにくいところまで丁寧に作業していただいたおかげで、とても気持ちよく2学期のスタートを切ることができました。

本当にありがとうございました。

表彰

本校では、県大会3位以上や九州・全国レベルの出場などの基準を設けて全校朝会などの折に表彰しています。今日の始業式でもたくさんの表彰がありました。

【高山辰雄賞ジュニア美術展推奨】
1年：永岡光、古屋敷あかり
2年：小山修弘　5年：長井優依

【大分県書写大会奨励賞】
1年：三ヶ尻美海　2年：佐藤瑠乃
4年：浅井みなみ　9年：佐々木奏

【歯と口の健康図画展優秀賞】
3年：東木原花野　5年：空閑桜佑

【大分県吹奏楽コンクｋール金賞】
吹奏楽部

【大分県中学校総合体育大会】
向野直杜・飯田蒼大（バドミントン男子ダブルス3位）
後藤和豊（水泳200M自由形3位、200M個人メドレー3位）
渡辺春（男子1500M3位）
礒崎心音（柔道70Kg超級3位）

【通信陸上競技大会大分大会】
阿部廉（100M3位、200M3位）

大分市立碩田学園
学校だより **碩愛** No.34
題字・文責：佐藤（校長）
R元10.24発行

３年連続受賞！

大分商工会議所が主催するエネルギー環境問題をテーマにした標語コンクールで、６年生の安部陽向さん（写真右）が「部会長賞」を受賞しました。また、碩田学園は入賞作品が最も多い学校に贈られる「教育長賞」を開校以来３年連続して受賞しました。

近年、数十年に一度といわれるような豪雨や台風などの自然災害が頻発していて、その原因に温暖化による地球環境の変化が指摘されています。数十億年の地球の歴史をみると燃え盛る時期もあれば、氷河期もあったのでしょうが、その変化が産業革命以来、急速かつ急激になっていることは確かです。

身近なところでは、マイカーを使わずに歩くか自転車を使う、エコバッグ、生ごみ減量のための「３きり運動」、食品の廃棄ロスを減らす、鉛筆やノートなどを最後まで大事に使うなど、私たちにできるエコライフを積極的にそして地道に進めましょう。

あす開幕！碩煌祭

今年のテーマは「結」

開会式でビッグアートが披露されます。各学年による歌や劇、合奏などの発表もあります。写真は、１年生の音楽物語「にゃーご」の練習風景です。午前中に小アリーナでは学年ごとに１～４年生の発表が行われます。また、大アリーナで予定している５～７年の学年発表、７～９年生の学年合唱や学級対抗の合唱コンクールも、大いに盛り上がることでしょう。午後は、大アリーナで吹奏楽部の演奏、個人発表、８・９年の学年発があります。平日開催ではございますが、皆さまのご来場・ご声援をよろしくお願いします。

お詫びと訂正

前号でお知らせした駅伝チームの名簿に誤りがありました。正しくは以下の通りです。

【碩田学園駅伝選抜メンバー】

女子：１区　村上叶恋　２区　阿部優生　３区　花宮うの　４区　木津愛理　５区　黒田珠樺
男子：１区　渡辺春　２区：東木原海　３区：吉田陸空　４区：二宮一太　５区：田中豊郎
６区：竹内孝乃介　（補欠）　女子：越原綾音　野上すみれ　二宮古都音　竹内花菜子
高野琳　後藤美嬉　木津春歌　男子：深松良太　下薗陽夏汰　栗田弘大　阿部廉

もっと知って！碩田学園のこと…

今回は校章と校歌です。

【校章】

開校前年度に、当時の荷揚町、中島、住吉の３小学校の児童と碩田中学校の生徒を対象に、新設校の校章の図案を募集しました。

数十点の応募作品から採用された原画の作者は「碩田の文字を組み入れて、□と◇を組み合わせることで４つの学校が一つになって発展するイメージ」と説明していました。

その原画をもとに、デザイナーの方に依頼してデザイン化したものが碩田学園の校章（写真上）になっています。

碩田という地名は、大分の古称でもある「碩田（おおきた）国」に由来していることは皆さんもご存知だと思います。「碩」の字には「すぐれている」「充実している」などの意味があります。「碩田」の文字を日本の伝統色と家紋の「組み合い角」を用いることで、学校、家庭、地域社会の強い絆も表現されているのですね。

【校歌】

碩田学園の校歌の歌詞には、統合した４校の歌詞がちりばめられています。これは、児童生徒や地域の方々、OB/OG からも「残してほしいことば」を募集したことによるものです。碩田学園は統合前の４校の伝統をしっかりと引き継ぎながら新たな歴史や文化を築いているのですね。

「流れるようなメロディーで歌いやすい」「間奏の部分が特にかっこいい」「さわやかな曲」「いわゆる校歌っぽくはなく」「帰り道にときどき口ずさむことがある」などの声も聞こえてきます。行事や集会で児童生徒が明るく元気に歌う姿に児童生徒の校歌へのこうした思いが表われているようです。

大分市立碩田学園
題字・文責：佐藤（校長）
学校だより 碩愛 No.39
R元11.20発行

おおきたっ子タイム

２０日（水）の朝、１～６年生の異学年交流「おおきたっ子タイム」があり、鬼ごっこやドッジボール、だるまさんが転んだなどで仲良く元気に遊びました。寒い朝でもぽっかぽか。

７年生の和楽器体験

７年生が箏や尺八などの和楽器の演奏に挑戦しました。

本校では毎年、邦楽合奏団「韻」の方々をお招きし、日本古来の音楽に触れる取り組みを行っています。

生の演奏を聞かせていただけるだけでなく、生徒一人一人が実際に楽器の演奏体験ができるよう沢山の楽器をご用意くださり、奏法指導までしてくださいます。専門家の方々のご協力により、生徒が「本物」に触れる機会を得られることは本当にありがたいことです。

オープンスクールで「子どものためのふれあいコンサート」

１９日（火）は学校公開日でした。１～６年生は、一流の演奏家が奏でるクラシック音楽に親しむ「ふれあいコンサート」に保護者と一緒に参加しました。

オープンスクールにお見えくださった方々の感想をいくつか紹介させていただきます。（全部を紹介することができなくて申し訳ないです。）なお、主催者側のご意向により撮影が禁止されておりましたので、写真を掲載することができません。ご容赦願います。

- ◆ 今日のクラシックコンサートを母子共に楽しみにしていました。学校で聞けることを大変うれしく思います。私も幼少の頃からピアノを弾き、今現在も引き続けています。プロの方の演奏は本当に素晴らしく私も久しぶりに演奏家の仕事を復帰しようかと思いました。
- ◆ ７年生の授業を見学しました。どのクラスも静かに聞いていました。人の基礎となる部分をしっかり学んでほしいと思います。
- ◆ 感動しました。せっかくの素晴らしいコンサートなのに、トイレに行き来する子ども達の足音がすごく気になり、演奏者に申し訳なかった。自宅でも子どもに指導します。
- ◆ 授業を観させてもらいました。どのクラスも和やかな中にも緊張感があり、騒がしい生徒が一人もいなかったのには感心しました。素晴らしいですね。
- ◆ ５年生は（血液）検査を頑張っていました。その後の給食もきちんとしていました。
- ◆ 一流の若き音楽家に接する機会が余りないので、今後も毎年実施してもらいたい。子供達にも大変良い教育になると思います。
- ◆ コンサートがとても楽しかったです。子供たちも一緒に歌えて、先生たちのダンスも良かったです。
- ◆ 演奏中に次々とトイレに立つ高学年の姿が残念。
- ◆ 素晴らしい演奏。定期的に開催されると良いと思う。
- ◆ 生の演奏を間近で聴ける貴重な体験だと思います。

花いっぱい活動

12月7日（土）10時から花いっぱい活動を行います。

今年は、小グラウンド回りだけでなく、校舎南側の花壇にもお花を植える予定です。より多くの保護者、地域の皆さま方のご参加・ご協力をお願いします。

なお、今月28日（木）の「地域貢献活動」の際に、校区外から通学している5~9年が、花いっぱい活動に備えて花壇の草取りや肥料のすきこみ作業を行います。

Save Children

碩田学園児童生徒会では、世界の子どもたちにポリオワクチンを届けるため、ペットボトルキャップを回収しています。こんなにたくさん。でも、一人でも多く救うために、もっとたくさん必要なんです！

大分市立碩田学園

学校だより **碩愛** No.41

題字・文責：佐藤（校長）

R元 12.9 発行

笑顔いっぱい、花いっぱい！

７日（土）の１０時から花いっぱい活動を実施しました。児童、保護者、地域の方々など、１００名を超えるご参加をいただきました。碩田ベースボールクラブの児童も試合の合間に大勢参加してくださいました。

小グラウンド周り、ポケットパーク、記念碑の花壇に色とりどりのパンジーとビオラのかわいらしい花が１，３００株以上整然と植えられて、とてもきれいになりました。

また、プロムナード南階段の横にはイングリッシュ・ガーデン風の「碩愛庭園」を新たに造営しました。

この庭園には、ストック、プリムラ、アリッサム、デージ―、ハツユキカズラ、スイセン、シクラメン、ガーベラ、パンダすみれなど１０種類ほどのきれいな苗を沢山植えてあります。ぜひ、見てね。

おめでとう！

税の作文コンクールで、９年生の浅井すずねさんが最優秀賞に輝きました。

９年生は社会科の授業で習ったでしょうが、納税は国民の三大義務のひとつ。税金を納めることで、私たちの社会が豊かになるのですね。碩田学園のこの立派な校舎も税金で建てられています。大切に使いましょう。

ちなみにあとの２つは、子に教育を受けさせる義務と勤労の義務ですよね。

お花からのお願い

花壇や庭園に何も植えられていないように見える場所がありますが、チューリップなどの球根が植えてあります。

碩愛庭園のタイルを敷いてある部分は歩いて入っても良いですが、庭園や花壇の土の部分には、お願いですから絶対に足を踏み入れないでください。見て楽しんでください。

大分市立碩田学園 学校だより 碩愛 No.43

題字・文責：佐藤（校長）

R元12.24発行

サンタさんがお出迎え

今日は１２月２４日。２学期の終業式の日です。また、クリスマス・イヴの日でもあります。ということで、今年も、碩田学園の３つの門に今年もサンタさんやトナカイさんがやってきました。どこからともなく、クリスマスソングが聞こえてきそうな気がしました。保護者、地域のみなさまのご理解とご協力をいただきながら、２学期を終えられることに深く感謝します。ありがとうございました。

来年１月８日（水）の３学期始業式の日からよろしくお願いします。元気で安全に充実した冬休みを過ごしてください。

開校３年目の今年も、PTA の役員さんが早朝から準備をされて、サンタさんなどに扮装して、登校してくる児童生徒もたちに「メリー・クリスマス」と声をかけてくださっていました。恒例になっています。明るい気持ちになります。

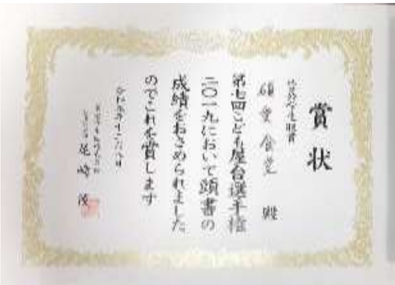
２学期を振り返ってみると、碩煌祭（文化祭）や６年生と８年生の修学旅行、教育実習生の受け入れ、持久走大会、努力遠足、おおいた国際車いすマラソン選手との交流会、見学遠足、中体連の新人大会や駅伝大会など、たくさんの行事がありました。学校では、行事の都度、実施方法や成果について検討を行い、次年度の教育計画に反映する作業を行いますが、来年度からは５，６年生について、国が定める標準の授業時数が増加しますので、一部の行事の実施の時期や方法などについて見直しを図ることとしています。具体的な検討状況は、今後、この学校だよりなどを通じてお知らせします。

おめでとう！

５年１組の小澤拓海さんの保護者、小澤美香さまが大分県 PTA 連合会が主催する３行詩コンクールで優秀賞を獲得されました。おめでとうございます。

（作品）ふたことで耐える　母の甲斐あって
増える会話　子どもの笑顔
見守る時期の　意味を知る

また、１２月８日に開催された「こども屋台選手権」に、７年生の川並莉子さんと村井ひよりさんがダブル・リーダーを務めた「碩田食堂チーム」が見事２年連続入賞しました。



家庭訪問アンケート…

毎年４月下旬から５月上旬にかけて実施している家庭訪問の実施方法について、アンケートを実施しました。73.7%の方からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございます。

結果は以下の通りです。この数字をもとに、実施方法について１月中に決定して、お知らせします。

保護者面談がよい　…62.2%
家庭訪問がよい　… 4.9%
どちらか選択できるとよい　…32.9%